

## 第 1 回 東海村地域公共交通会議 議事メモ(公表用)

【日 時】 平成 26 年6月 25 日(水) 14 時～

【場 所】 東海村役場 議会棟 201 委員会室

【出席者】 (委 員) 出席 14 名／欠席 6 名

### 1. 開会(大道課長補佐)

### 2. あいさつ(箭原課長)

- ・ 今年度から村長公室が創設され、まちづくり推進課が公共交通を所管することとなった。昨年度までデマンド交通運行委員会及び地域公共交通の在り方検討委員会の2つの委員会を開催してきたが、今年度からは一本化し地域公共交通会議として開催していくこととする。これは、後ほど詳細に説明するが、今年度は、茨城大学との協力で既存の公共交通に対する調査・研究を進め、そのニーズを基に実証実験の実施を計画しており、包括的に議論することができる法定協議会を整備することが望ましいとの指摘をいただいたからでもある。
- ・ 本日は2件の協議事項を予定しており、今後の村としての公共交通を考えていきたいと考えているので、忌憚のないご意見を頂戴したい。

### 3. 委員紹介

- ・ 名簿に沿って出席委員から自己紹介。欠席委員については事務局から一括して紹介

### 4. 会長・副会長の選出

- ・ 要綱第4条の規定に基づき会長・副会長を選出する。
- ・ 事務局案として、デマンド交通運行委員会からの継承を主に置いて進めていきたいことから、引続き、河野委員長に会長を、岸副委員長に副会長をお願いしたい。⇒ 承認

(岸副会長)

- ・ 私はデマンド交通の立ち上げから関わっているが、ここまで利用が増えるとは予想もしていなかった。関係者の努力で、地域住民の足として定着していることは大変喜ばしいことだと思っている。
- ・ 一方でデマンドタクシーは自宅から目的地まで行けて便利なのだが、路線バスが縮小傾向にあり、それに代わる手段も検討して欲しいとの声も上がっている。
- ・ この地域公共交通会議の中で活発な議論を展開していきたいと思っている。

### 5. 協議事項

#### (1)本村の地域公共交通の在り方に関する今後の計画について(松崎主幹)

- ・ 資料 1-①に基づき、平成 25 年度の東海村デマンドタクシー「あいのりくん」の利用実績を説明
- ・ 資料 1-②に基づき、公共交通の在り方検討事業に関する平成 26 年度の取組み(目的, 概要, スケジュール)について説明

〈質疑〉

- ・ デマンドタクシーの運行に関して順調に利用者数が推移しており、現状の課題としては、キャンセル対策を講じることとの説明があったが、他に行政として又は利用者からの視点として、地域公共交通の課題として捉えていることはどのようなことがあるのか？

（運行している立場から）

⇒4・5年前はタクシー1台あたりの走行距離が180kmにも及ぶ日があったが、最近では120kmほどで運行できており安定している。数年前までは、利用者から厳しい意見が寄せられることも多かったが、最近では、逆にほめられることが多いように感じている。

（利用者の立場から）

⇒導入当初はデマンドタクシーというものにお互いに慣れていなかったことから、様々なトラブルが発生していたが、最近では、地域住民の足としての定着がみられている。割引制度も導入し、利用しやすい環境を提供することができている。しかし、あくまでも利用できるのは村内だけであり、例えば笠松運動公園のプールには行けないという状況から、村外に出ることはできないのかという声を聞いたこともある。

（事務局の立場から）

⇒村政懇談会の中でも、デマンドタクシーは台数も増え便利になってきているが、村外に行くことができないとのご意見を頂いている。村としては、アンケート結果や本会議での議論などを踏まえて、何らかの公共交通を整備する旨の方向性を持っていると答えているところである。

- ・ 村内の路線バスの状況について聞きたい。  
⇒東海駅から日製の工場関係への輸送を主とした路線が朝の便として若干あるのと、東海駅の東口からフローレスタ須和間方面に向かっている路線だけである。以前のように東海駅と水戸駅を直接結ぶ路線については現在ない。

## （2）地域公共交通の調査・研究について

（茨城大学）

### アンケート調査の内容について

- ・ 資料2-①に基づき、調査・研究事業のねらい、方法、今後の予定について説明
- ・ 資料2-②に基づき、日常の外出についてのアンケート調査についてねらいや設問について説明

〈質疑〉

- ・ アンケートを行う時期について確認したい。  
⇒9月に予定している第2回の会議において報告できるよう、7月中には回収し、8月に分析を行いたいと考えている。
- ・ 南台や緑ヶ丘などの地域住民から、買い物支援や外出支援などに関連したアンケート調査を実施したいとの要望があがってきている。時期は未定であるが、地域公共交通に関連するので、今回のアン

ケート結果なども踏まえて連携していきたい。

⇒今回のアンケートはデマンドタクシーの登録者を対象としており、将来外出手段に困るであろう方よりは、現状で既に外出手段が限定されている方の声を中心となる。その辺りの整理をして連携できればと思う。

- ・ 調査対象日は2日に限定する計画であるが、範囲が狭すぎるのではないか。  
⇒日頃外出していない高齢者の数値も合わせて把握するねらいがある。他調査では、全く外出しない高齢者が3・4割程度いることが判明したこともある。全く外出しない方に対して、その後の設問で買い物などについて詳しく聞くので、この設問も大きな意味があると考えている。
- ・ 今回の調査も含めて、公共交通に対する村としての考え方としては、デマンドタクシーや JR、路線バスなど今ある手段に加えてどのようなものが考えられるのかを検討するものであり、今あるものを否定するような考えはない。今回のアンケートもデマンドタクシーをどうするのかということを主なねらいとしたものではない。
- ・ 事業所からも来村者の足が限定されているという声が寄せられているが今回のアンケートには入れ込まないのか。  
⇒事業所に関しては個別にヒヤリングを行う予定である。
- ・ アンケートは有効な手段の一つであると思うが、公共交通を検討するにあたって、アンケートと平行して自治会や社会福祉協議会、高齢者クラブなどいくつかピックアップしてグループディスカッションの実施を検討することも有益ではないかと思う。  
⇒非常に重要な要素であると思うので相談しながら進めていきたい。
- ・ デマンドタクシーの利用登録者が約 8,000 人となっているが、そのうち 1,000 人を対象とするのか。  
⇒1,000 人のうちデマンドタクシーを日頃利用している方と利用していない方が半々となるよう調整する予定である。
- ・ 本日いただいた意見を基に修正を加えた上でアンケートを実施することとする。

### (3)その他

## 6. 閉会(大道課長補佐)

- ・ 次回は9月下旬に開催することを予定している。アンケート調査の結果等を事前に送らせていただき、資料にお目通しいただいた上でお集まりいただき、協議したいと考えている。